

第57回 宇宙科学・探査小委員会 議事要旨

1. 日時：令和5年2月24日（金） 9：00－11：00

2. 場所：宇宙開発戦略推進事務局大会議室

3. 出席者

(1) 委員

常田座長、大島議員、関委員、永田委員、山崎委員

(2) 事務局（宇宙開発戦略推進事務局）

風木局長、渡邊審議官、松本参事官

(3) 関係省庁等

文部科学省研究開発局宇宙開発利用課

上田課長

鈴木室長

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構所（ISAS）

國中所長

藤本副所長

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構国際宇宙探査センター

山中センター長

小川部長

国立天文台ハワイ観測所

宮崎所長

4. 議事要旨

(1) 宇宙科学予算について（令和6年度概算要求）

令和6年度の宇宙科学予算の概算要求について、文部科学省から、資料1を用いて説明があった。

委員からは、以下のような意見があった。

（○：意見等）

○H3 ロケット打上げ遅れ等のMMXへの影響、今後の見通しについて

○LiteBIRDの欧州等との調整状況について

(2) 宇宙技術戦略（宇宙科学・探査）に関する考え方（案）について

資料2を用いて、事務局から次期宇宙基本計画の策定に向けた宇宙科学・探査に関する横断的な論点についての説明があった。

委員から、工程表について以下のような意見があった。

（○：意見等）

○スクリーニングやプライオリティ付け、またその考え方が重要

○（これまでJAXAで進めてきた）フロントローディングと宇宙技術戦略の関係性

○今後の見直し（ローリング）等のタイミングについて

○現行の宇宙基本計画における「今後、10年間では、戦略的に実施する中型計画に基づき3機、公募型小型計画に基づき2年に1回のペースで5機打上げを目指す」という記載につき、より柔軟な対応が必要ではないか。

(3) 月面の科学の具体的な進め方について

月面ミッションフィージビリティスタディを受けた、今後の月面の科学の進め方について、JAXAから資料3を用いて報告があった。

委員から、工程表について以下のような意見があった。

(○：意見等)

○月面3科学とローバ開発の相補的な推進・連携が重要

○今後の月探査計画の中でのLEAD1の位置づけについて

(4) 火星本星探査の構想の検討状況について

火星本星の探査について、JAXAから、資料4を用いて、検討状況の説明があった。

委員から、工程表について以下のような意見があった。

(○：意見等)

○今後のミッションを打上げとの関係でどう進めていくのか

○他の宇宙探査(月面、LiteBIRD等)との関係について

(5) NASA Habitable World Observatory ミッションの検討状況について

NASAのHabitable World Observatory ミッションの検討状況について、JAXAから、資料5を用いて報告があった。

委員から、工程表について以下のような意見があった。

(○：意見等)

○天文分野の国際的な計画(検討)への参画の意義や重要性、今後の貢献可能性について

以 上